

令和3年度

第2回江別市緑化推進審議会

日時 令和4年1月18日（火）
午後2時00分～
場所 野幌公民館研修室3・4号

次 第

- 1 開 会
- 2 生活環境部長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 議事
 - (1) 報告事項
報告第1号 次期江別市緑の基本計画の策定について
 - (2) その他
- 6 閉 会

令和3年度 第2回江別市緑化推進審議会 会議録（要旨）

発言者等	内 容
審議会 出席委員	小阪委員、大原委員、宮委員、河村委員、佐賀委員、田原委員、石澤委員 藤岡委員 (計8名)
事務局	田中環境室長、山崎環境課長、鈴木環境課主幹 (計3名)
傍聴者	2名
司会	山崎環境課長
山崎課長	配付資料の確認
議事（報告案件）進行 小阪会長	
報告事項第1号 次期江別市緑の基本計画の策定について	
鈴木主幹	次期江別市緑の基本計画の策定について説明
小阪会長	<p>次期緑の基本計画の策定作業を令和4年度から開始し、次回以降は、最後のページのスケジュールにあるように、何回かにわけて具体的に進めるという内容であった。</p> <p>ただいまの説明で、難しい言葉もあろうかと思うが、ご質問あるいはご意見などはないか。</p> <p>資料1-2と資料2-2は、概ね同じ内容で資料1-2は図式化したものであるが、特に質問などはないか。</p>
	質疑なし
小阪会長	<p>それでは、順番に確認させていただく。</p> <p>1 緑の基本計画とは、の現行計画の位置付けは、ある程度分かると思うが、この審議会で審議する緑の基本計画は、江別市の上位の会議や関連の会議等との整合性を図ったうえで、策定作業を進めることになるかと思う。</p> <p>特に、この部分についてご質問などはないか。</p>
大原副会長	<p>上位計画の都市計画マスタープランや環境管理計画も令和4年、5年で見直しということだが、それを受けてこちらの計画をどのように考えていったらよいか。</p> <p>資料2ページでは、現計画もマスタープランを受けての緑の基本計画になっているが、上位の計画との関連性は今後どのように考えていったらよいか。</p>

令和3年度 第2回江別市緑化推進審議会 会議録（要旨）

鈴木主幹	<p>今お話しがあった都市計画マスタープランは、ほぼ同じ時期に策定作業に入っていく。まだ、都市計画マスタープランについては、具体的な話は進んでいなく、準備段階ということであるが、今後連携をとりながら、お互いの方向性に相違が生じないように留意し、計画の策定を進めていこうと考えている。</p>
小阪会長	<p>続いて、2 現行計画の概要に、令和5年までの流れが図式化して示している。具体的には、2 ページに緑地面積の推移、目標数値、どのような経緯で現在に至り差が生じているかということの数値化している。</p> <p>先ほどの説明のとおり、現時点では、大半の項目が現状維持もしくは目標に達していないが、何かお気づきの点やご質問などはないか。</p> <p>私の方からよろしいか。</p> <p>当初の目標数値は、かなり壁が高い数値だったのか。それとも、20年間のいろいろな情勢により無理だったということか。これから十分検討されるかと思うが、今の段階で何かわかれば教えてほしい。</p>
山崎課長	<p>会長からのご指摘は、計画策定当時、右肩あがりの将来推計は、どのように考えて設定したのかということだと思うが、その当時は、大きく緑を増やしたいと考えての数値だったのではないかと、認識をしている。</p> <p>これに関しては、緑地面積を数十ヘクタール増やすというのは、簡単なことではなく、相当な高いハードルだったかと思う。4桁ヘクタールのうち、2桁ヘクタール増やすというのは、わかりにくいですが、かなりハードルの高い数字だったのだろうと思う。</p> <p>ただ、先ほど主幹からの説明のとおり、ここの数値的な部分の評価については、8月までにある程度、令和3年までの数値を整理したうえで、今、会長から質問があった、どういうふうに考えるのかという部分についても、審議会へご説明させていただき、議論いただこうと考えていることから、もう少々お時間をいただきたい。</p> <p>感想としては、やはり当時は大きく数字をあげたかったし、今考えると、かなりハードルが高い数字だったということだけはお伝えする。</p>
小阪会長	<p>その他にご質問、ご意見等はないか。</p>
大原委員	<p>今、数値のことをご説明いただいたが、見る限り減っている項目はない。目標値は高かったが減っているところはなく、増えているところは確実にある。</p> <p>そうすると、私は、これは悪くないのではないかと、よく頑張ったのではないかと思う。市民や市役所の方の肌感覚として、減ったというものがあるのか。</p> <p>この数値だけ見れば、現状維持はできているし、若干増えているというポジティブな感触を持つ。もちろん数値目標は高かったかもしれないが、その辺はどのような感じなのか。</p>
山崎課長	<p>①の平成13年当初の現況と③の平成25年の中間年次の現況だけを比べると減っていないが、この後、下から3行目の「上段のうち保全樹林面積」に</p>

令和3年度 第2回江別市緑化推進審議会 会議録（要旨）

	<p>関しては、平成30年度に実は減っている。</p> <p>また、その上の「法や条例などで守られる緑地面積」についても、昨年JR鉄道林の指定解除があった。これについては、緑化推進審議会委員の皆さまには、別途ご説明させていただく機会を設けて、個別に状況説明をさせていただいた。</p> <p>その部分のマイナスがここには反映されていなく、ここだけ見ると、あまり減っていないが、現状は、その部分で数ヘクタールずつ減っている。</p> <p>そういった部分について、どう評価し、令和6年以降の計画では、どういう見方にするのか、その数値の指標をこのまま使うのか、あるいは、考え方を变えるのか、マイナスになった部分を増やすという目標設定にするのかなど、いろいろな考え方があると思うが、今後、8月以降の審議会でご審議賜りたいと考えている。</p>
<p style="text-align: center;">田中室長</p>	<p>今の現況の報告だが、平成13年当時、緑化推進審議会において、しっかりご審議いただき、数値目標をたてて計画を策定したものであり、この設定自体を否定するものではない。</p> <p>課長が申し上げましたとおり、その後の社会情勢なども変化した中で、達成できないというのが、実際のところである。</p> <p>当時の設定の仕方が悪いということではございませんので、ご理解いただきたい。</p> <p>当時、増やすという流れで目標を設定したところだが、担当者の話を聞く中では、緑化とその維持を一体化で進めるという作業は、かなり難しいところがあると聞いており、植樹をしていく中で、維持管理を含めたことも必要だったのではないかとということが反省としてある。</p> <p>いずれにしても、令和3年度の数値は間もなくでることから、その数値を見ながら、この目標に対して何がいけなかったのか、どういうところが誤っていたのかを含めて、反省点、問題点をしっかり精査した中で、次の計画に進めて行きたいと考えている。</p>
<p style="text-align: center;">小阪会長</p>	<p>その他に質問はないか。数値のことだけでなく結構なので。</p>
<p style="text-align: center;">石澤委員</p>	<p>資料1-1の社会情勢の変化の中に、今ある緑の有効活用へのシフトというのがありますが、具体的にどういうことを言っているのかをお聞きしたいのが一つと、緑の量を確保する時代から質を向上する時代となっているが、具体的にどのように質を向上するという事なのか、説明いただきたい。</p>
<p style="text-align: center;">鈴木主幹</p>	<p>先ほどもお話しがあったが、当初の緑の基本計画は、緑の量を増やすというところに主眼を置いていた時代に策定されたので、江別市もそういった傾向で策定された。</p> <p>しかし、今、国や北海道では、量よりも質という話になっている。質というのは、わかりやすくお話しすると、例えば、公園だと、今まで身近な公園ということで、公園の数を増やしていくという流れがあったが、今後は、人口減少</p>

令和3年度 第2回江別市緑化推進審議会 会議録（要旨）

	<p>社会を迎え、公園についても、利用頻度の少ない公園の統廃合や公園の機能を集約する。例えば、散策の途中の中継の芝生とベンチだけにしてみるなど、そういう機能の分散というか集約をしてみる。</p> <p>緑の状況でいうと、樹木などは増やす方向であったが、地球温暖化の関係で脱炭素社会を目指す中では、樹木はCO₂の吸収源ということで、緑のCO₂吸収能力を確保するうえで、例えば間伐をするなどの維持管理に力を入れていく、そういった形で緑についても質の向上をしていくなど、あくまで一つの例ではあるが、そういった意味で、量から質へという意味合いをもっている。</p>
小阪会長	<p>他に質問はないか。</p> <p>私から1つ。コンパクトシティという言葉が出ているが、江別市もコンパクトシティに向けて、基本的に考えているということか。</p>
山崎課長	<p>コンパクトシティという考え方については、国、北海道もそういった考え方を当然して、野幌駅の鉄道高架事業も、そういった流れの中の事業である。</p> <p>考え方としては、都市の中心軸みたいなものをつくらうというものはある。</p> <p>ただ、社会情勢としてそういったとらえ方をしているが、先ほどの質から量の部分での公園の機能の分担や見直しみたいな考え方と同様に、コンパクトシティについても、国や北海道がそのように言っているという状況である。</p> <p>江別がすぐ進めるかというのは、これから考える話であり、計画策定の中で、緑のあり様をお話しさせていただく中で、こういう考え方をしましたというのが、これから出てくる話になろうかなと思っている。</p>
小阪会長	<p>今、3ページの江別市緑の基本計画の必要性のところのいくつかの項目でご質問をいただいているが、そのほかご質問等はないか。</p> <p>それでは、4ページの策定スケジュール。令和4年度、5年度、これは、具体的に言うと、審議会の回数なのか。</p>
鈴木主幹	<p>概ね、この回数を予定しており、時期についても第1回目は、8月ごろを目途に開催を予定している。</p>
小阪会長	<p>策定スケジュールについても、だいたいこれから2か年程度で基本計画を見直して作るということになるが、この辺についてご質問などはあるか。</p> <p>それぞれ事務局で作られた案などを提出いただき、みなさんからご意見をいただければということかと思う。</p> <p>何か流れの中で、こうした方が良いのではないか、というようなことはないか。あるいは、ご質問、ご意見などはないか。</p>
田原委員	<p>質問ということではないが、いろいろな江別の計画、総合計画が来年、再来年度で進んでまいりますよね。先ほど、会長からお話しがあったように、いろいろな段階で、整合性を持たせるようなことを進めたいっていただきたいというのが私からの希望です。</p> <p>出来上がってみたら、対立するような内容になると困る。</p>
小阪会長	<p>他に何か質問等はないか。</p>

令和3年度 第2回江別市緑化推進審議会 会議録（要旨）

	質疑終了
小阪会長	この案件については、終了してよろしいか。
委員一同	一同了承
小阪会長	それでは、策定方針に基づき、次期計画の策定を進めていただくようお願いする。
	質疑終了
その他	
事務局	特になし
山崎課長	閉会